

河南町・富田林市消防広域化について

河南町総合政策部
河南町消防本部

河南町の消防の現況



河南町消防本部

1消防署
24人

救急件数
(H12)536件⇒(H25)704件

装備 ポンプ車1台、タンク車1台
救急車1台(予備車1台)

体制 消防隊1隊、救急隊1隊

常時 消防隊 3人、救急隊 3人、通信指令 1人の7人体制(日勤者除く)

平成25年4月1日現在
平均年齢 38.8歳

なぜ、今広域化するの

近年

大規模化する災害、住民ニーズの多様化への対応

重複する救急(年間70件)の対応⇒消防署員0人では、次の消防救急に対応できない

火災など初動体制が十分取れるか

⇒消防1隊しかない

大規模災害時の初動体制が十分できない

火災や救急に対して、実戦での経験が不足
的確な判断ができるか

広範な防災活動への対応ができない

高度な車両、資器材が十分整備できない(財政規模から)

山での遭難事故に十分な体制がとれない

予防分野における専門分野を担当する職員を育成できるか

消防救急無線のデジタル化

平成28年5月～ デジタル化

河南町単独での整備

(無線のデジタル化、高機能指令センター)

デジタル無線整備費用概算

単位：百万円

	事業費計	国庫補助金	地方債	一般財源
消防救急デジタル無線整備	160	56	94	10
指令センター整備	210	0	210	0
事業費計	370	56	304	10
本町の負担額			210	10

毎年度
28百万円
の返済

地方債10年償還

消防力の向上

住民サービスの向上

高度化・専門化への対応



消防救急無線のデジタル化
救助工作、はしご対応 など

本町単独整備

①レスキュー隊の配置の場合

人件費 導入時 54百万円(人員12名増程度)
救助工作車購入 80百万円

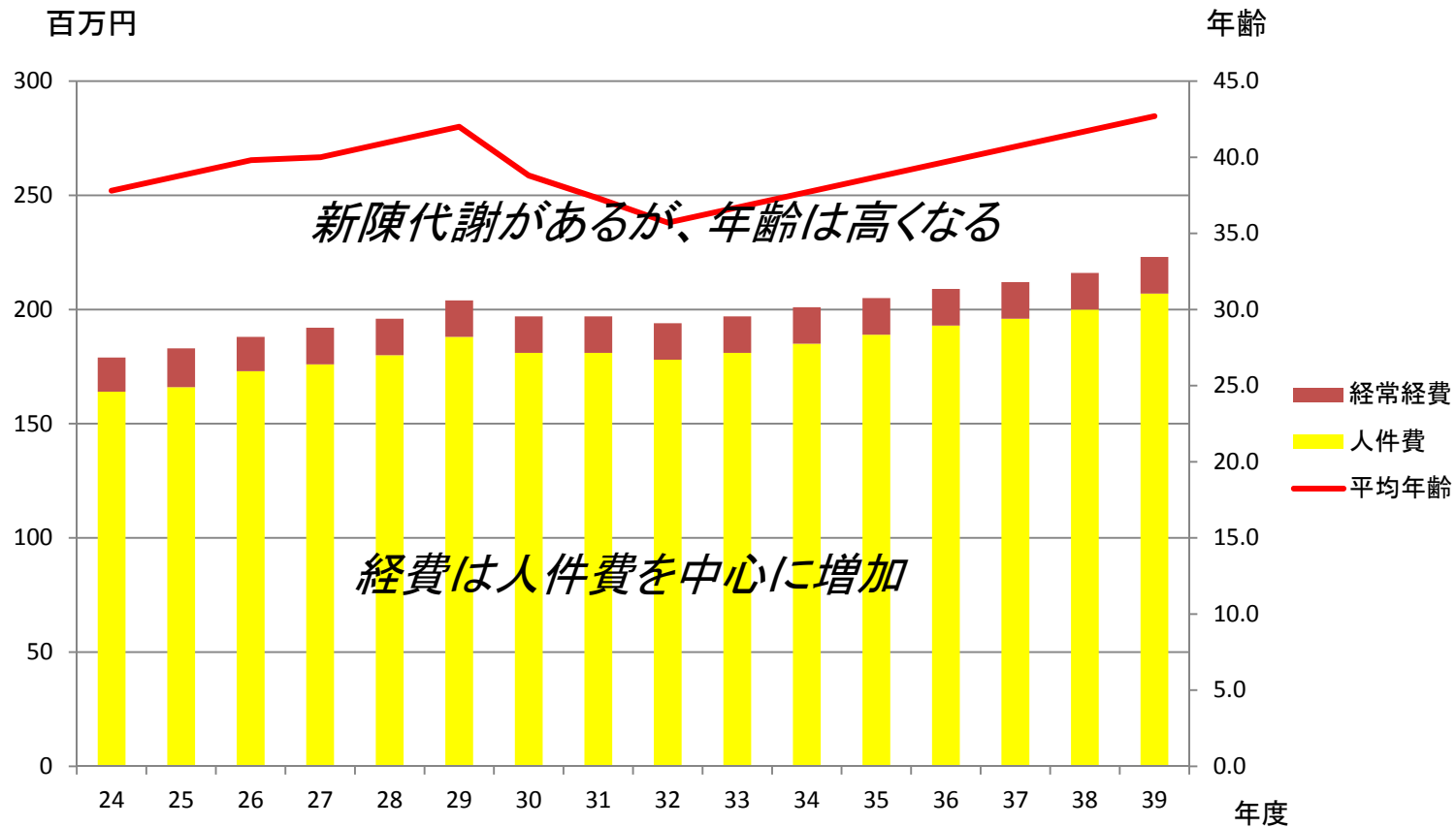
消防の人員、
経費の増

②レスキュー隊+はしご車配置の場合

人件費 導入時72百万円(人員16名増程度)
救助工作車購入 80百万円
はしご車購入 150百万円

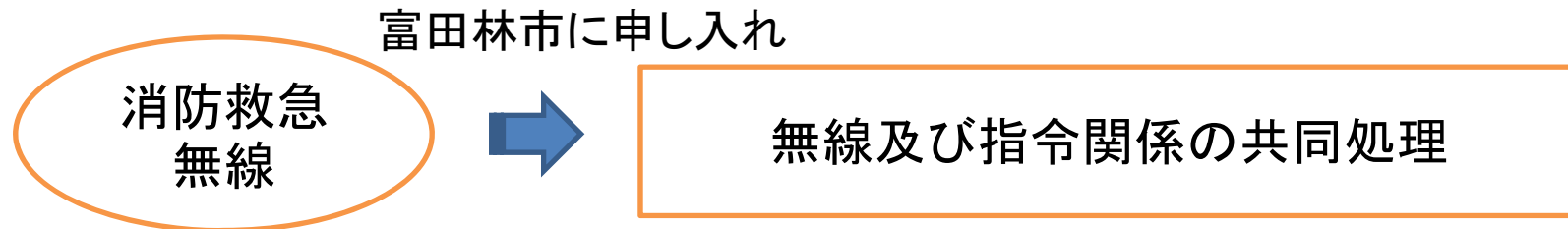
本町で維持
していける?

消防職員の平均年齢と常備消防経費 (見込み)



高度化する救急医療や専門性が増大する消防業務
消防の機動性や消防力の強化に限界

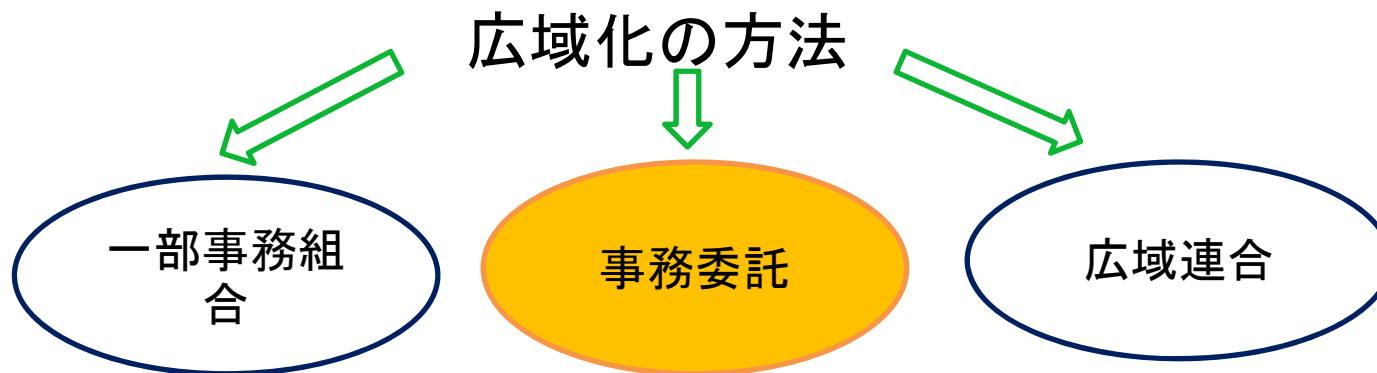
富田林市との連携



平成28年5月まで



常備消防の広域化(国の方針に合致)



国の広域化の推進方針

市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成18年)策定

○おおむね30万人以上の規模を目安

○都道府県で推進計画策定
(府内4ブロック)



その後、改定
(府内6ブロック)

市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成25年)改定

○必ずしも30万人規模でなくても、地域の実情を考慮して

○広域化重点地域の指定(新設)

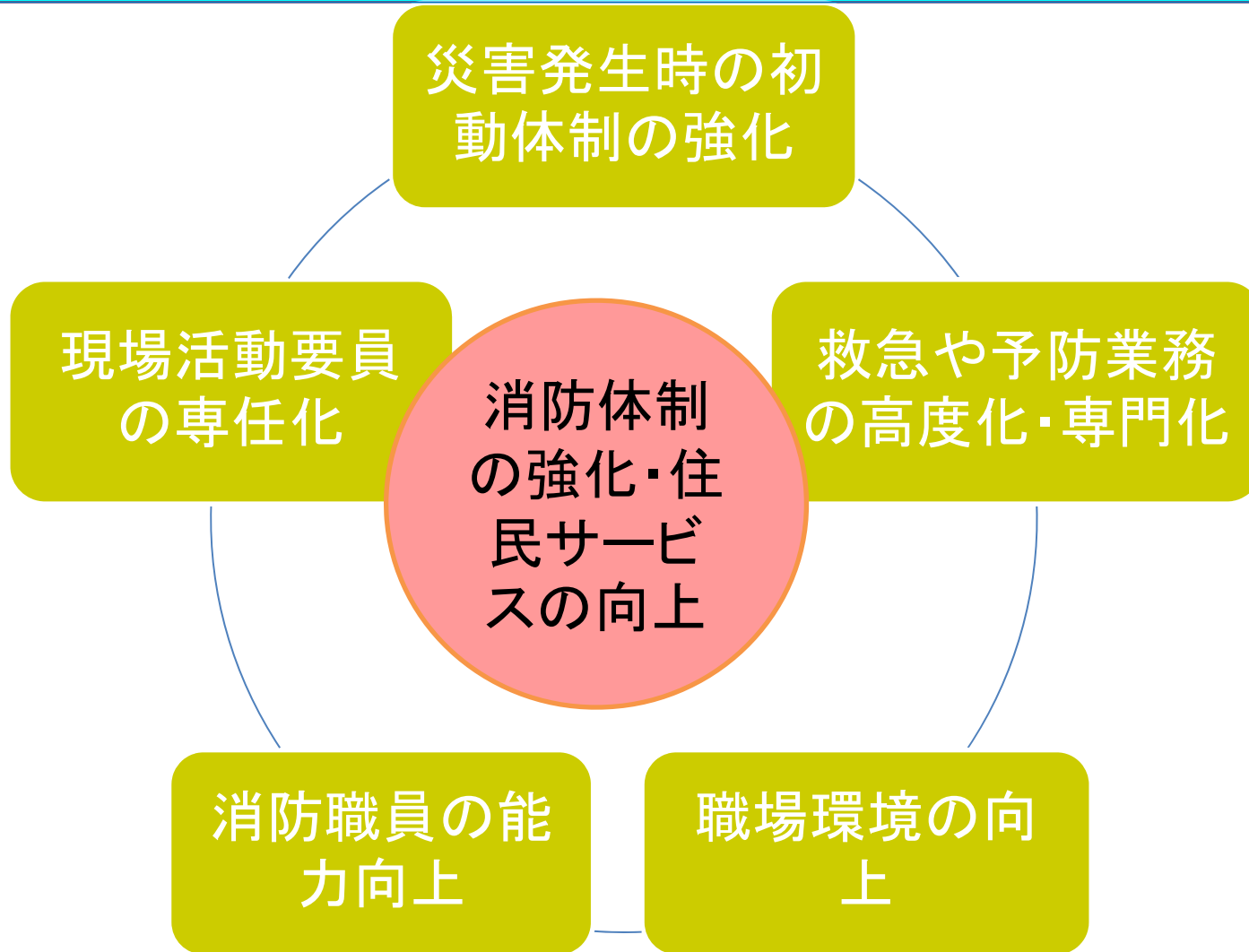
河南町及び富田林市が指定



○消防防災体制の強化
(東日本大震災後)

○財政支援の拡充(25年度～)
緊急防災・減災事業債の拡充
(28年度まで)

消防事務の広域化の意義



広域化を進めるにあたって

消防組織法
第34条

広域消防運営計画

事務委託

常備消防

広域化の方式、事務の範囲
広域化の開始時期

平成26年10月1日

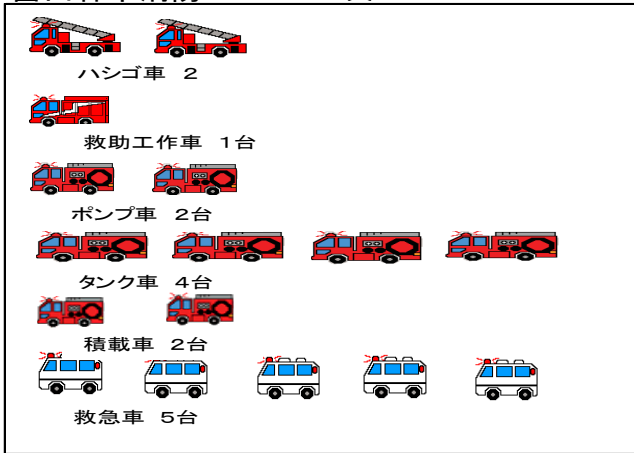
消防本部の組織
職員の処遇

施設整備等
経費の負担等

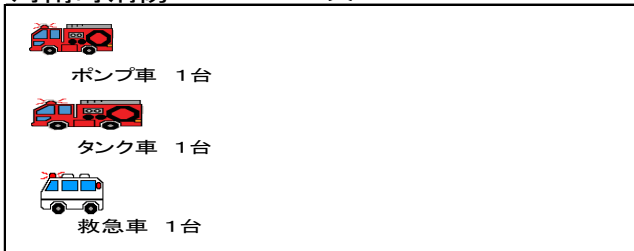
ETC

広域化後のすがた

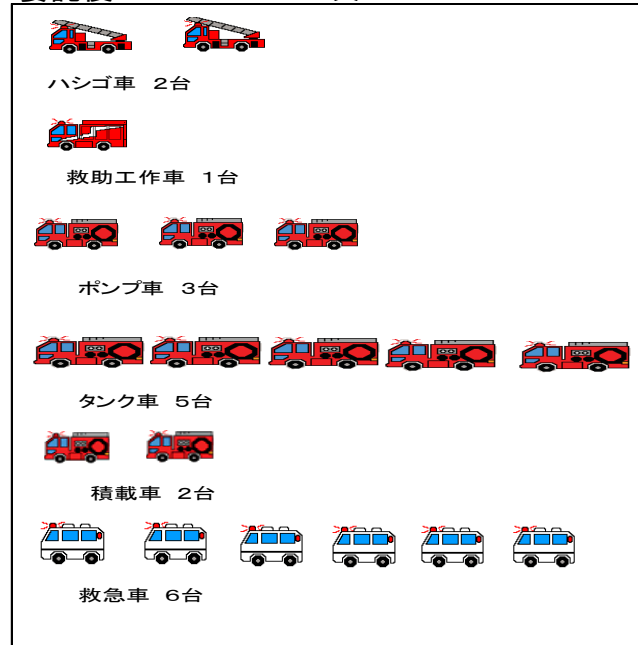
富田林市消防 134人



河南町消防 24人



委託後 158人



1消防本部 1消防署 4分署
(金剛、太子、河南、千早赤阪)

消防団、消防水利にかかる事務などは、委託しない

事務委託にかかる経費負担

(1)事前準備経費



河南町が全額負担

(2)消防事務にかかる
人件費



負担する職員数割
158人のうち24人分を負担(平均給与)

(3)消防事務にかかる
経常経費



人口割

(4)共用する消防施設
整備にかかる経費



人口割

(5)消防救急無線デジタル
化、高機能指令セン
ター整備にかかる経費



均等割20%、人口割80%

富田林市が既に受託している負担割合と同じ

負担する経費の例①

(1)事前準備経費

- ①庁内LAN整備 ②貸与品統一 ③車両、庁舎等標示 ④委託に必要なその他事前準備経費
- (例)消防署のデジタル受信設備(30百万円程度)、消防職員の退職手当相当額(200百万円程度) など

(2)消防事務にかかる人件費

- ①職員の給料、職員手当、共済費
- ②職員の退職手当(委託後の年数も含めて按分)

(3)消防事務にかかる経常経費

- ①消防資機材の維持管理費
- ②消防本部、消防署等の施設の維持管理費
- ③消防にかかる一般事務経費 など

負担する経費の例②

(4)共用する消防施設整備にかかる経費

- ①共用する車両、備品等の整備、更新等
- ②共用する施設整備
- ③共用する施設整備、車両等にかかる起債の返済
(例)ホースなどの備品整備、車両の整備にかかる経費 など

(5)消防救急無線デジタル化、高機能指令センター整備にかかる経費

- ①デジタル無線整備費及び起債の返済
- ②高機能指令センター整備費及び起債の返済

住民基本台帳人口(平成25年10月1日)

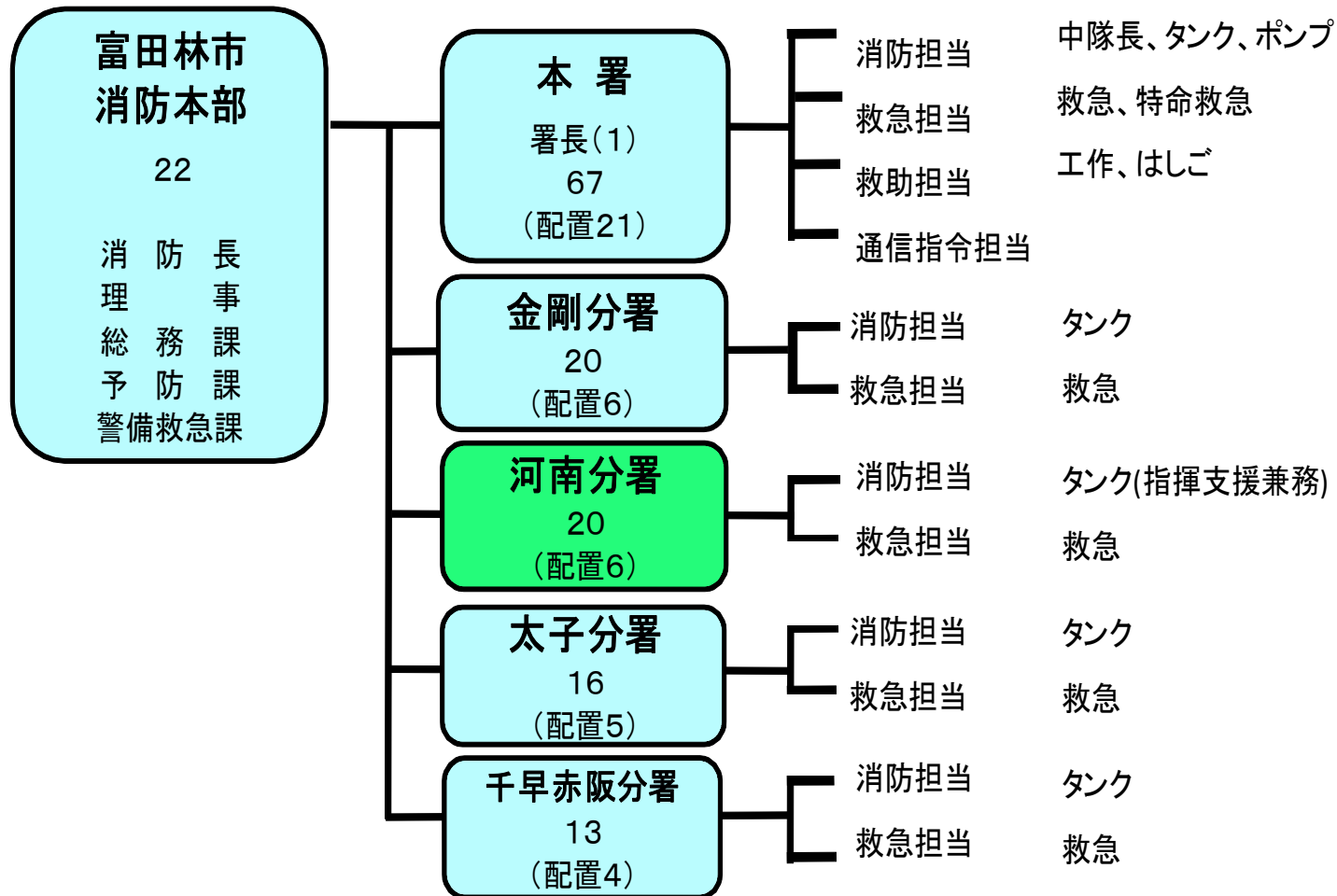
	人 口
富田林市(太子町、千早赤阪村)	137,202
河南町	16,191
合計	153,393

具体的な負担割合

人口割 10.6%程度

均等割20、人口割80 13.5%程度

委託後の消防組織



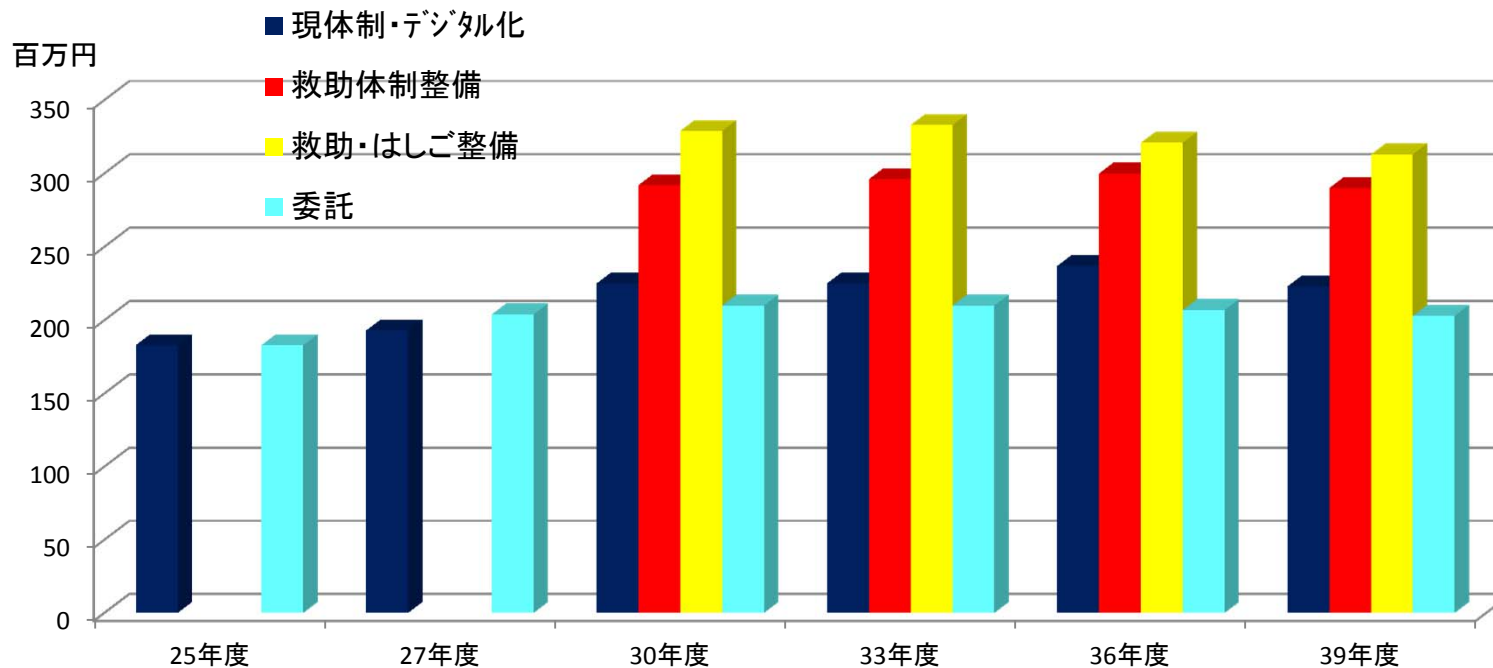
単独消防と広域化の見通し

①単独で維持

(今後の消防ニーズに応えられるか)

②単独で維持し、消防力の向上

③富田林市に常備消防事務を委託



消防広域化に向けたスケジュール

	25年度				26年度							
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
富田林市・河南町消防運営計画				消防組織法第34条により定める。	パブコメ	計画成案となる				<ul style="list-style-type: none"> ・事務委託 10月1日～ ・委託事務⇒常備消防事務 保安3法にかかる事務(府権限移譲) ・河南分署となる 		
事務委託にかかる準備(河南町で行わなければならない事業)							(1)消防救急デジタル無線の受信設備 (2)車両(広報連絡車)の購入	富田林消防本部・河南分署間の庁内LAN				
議会						6月議会	規約の議決 事前準備にかかる予算		9月議会	条例等の整備 委託にかかる予算		
富田林市のデジタル化												
無線のデジタル化整備事業	デジタル無線整備				高機能消防指令センター整備 26年度中に整備							